

みずほCustomer Desk Report 2017/08/17号(As of 2017/08/16)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.71 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.60	1.1740	129.84	0.9726	1.2866	0.7825
SYD-NY High	110.95	1.1779	130.39	0.9766	1.2903	0.7934
SYD-NY Low	110.03	1.1681	129.54	0.9649	1.2842	0.7816
NY 5:00 PM	110.20	1.1768	129.63	0.9658	1.2892	0.7925
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.16/8.56		△25RR	0.890	Yen Call Over	

NY DOW	22,024.87	25.88	債券市場	日本2年債	-0.1120	-
NASDAQ	6,345.11	12.10		日本10年債	0.0420	▲0.8bp
S&P	2,468.11	3.50		米国2年債	1.3261	▲2.0bp
日経平均	19,729.28	▲24.03		米国5年債	1.7806	▲4.5bp
TOPIX	1,616.00	▲0.21		米国10年債	2.2220	▲5.1bp
シカゴ日経先物	19,715.00	▲15.00	為替市況	独10年債	0.4450	1.2bp
ロンドンFT	7,433.03	49.18		英10年債	1.1050	2.1bp
DAX	12,263.86	86.82		豪10年債	2.6630	1.5bp
ハンセン指数	27,409.07	234.11		USD/CNH	6.6883	▲0.0080
上海総合	3,246.45	▲4.81		ドルインデックス	93.54	▲0.31
USDJPY 3M Vol	8.90	▲0.02%	商品市況	CRB指数	175.357	▲0.95
USDJPY 6M Vol	9.11	▲0.03%		NY金	1,282.90	3.20
EURJPY 3M Vol	9.04	▲0.17%		WTI	46.78	▲0.77
EURJPY 6M Vol	9.42	▲0.18%		Dubai Spot	49.75	0.30

東京	東京時間のドル円は110.60レベルでオープン。前日海外時間に発表された米7月小売売上高や米8月ニューヨーク連銀製造業景況指数が良好な結果となったことに加えて、仲値にかけては実需勢のドル買いが強まったことからドル円はじり高推移となり一時110.77まで上昇。しかし、前日高値(110.85)を上抜けることができず、その後は特段の材料ない中で動意に乏しい推移が継続。結局、110.75レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は110円台後半でレンジ推移。朝方は110.75レベルでオープン。夏休み相場で引き続き流動性が低下している中で序盤は海外勢のドル買いを受けロンドン高値110.95まで上昇。ドル買戻し一巡後は米金利も低下する中でドル円も上値が重くなり、110.80レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.1725レベルでオープンし、ロンドン高値1.1758まで上昇。しかし、ECB報道官の「ドラギ」ECB総裁はジャクソンホールで新たな政策メッセージは発表しない」との発言を受け、ユーロドルは1.1691まで下落。値ごろ感から一時1.17台前半まで反発したものの、その後はドル堅調の流れの中で1.17台前半まで反落し、1.1710レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.2854レベルでオープン。序盤に発表された各種経済指標は全般的に市場予想対比で強い結果となり、ポンドドルはロンドン高値1.2903まで上昇。その後はドルの底堅さに押されポンドドルは反落し、1.2868レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 日比野)
ニューヨーク	NY時間のドル円は110.80レベルでオープン。朝方は米7月住宅着工件数が予想を下回り110.69まで下落するが、ユーロドルが再び下値を試す展開に、ドル円も110.95まで戻す。その後は、FOMC議事要旨の公表を控え、狭いレンジでの推移が続く。午後に入り、先日のバーンズ氏の白人至上主義者と反対派の衝突を批判したことから米大企業CEOらで構成されている諮問委員会組織のメンバー数名が辞めたことを受け、トランプ大統領がこの組織の解散を発表。ドル売りが強まる展開となりドル円は110.43まで下落する。注目のFOMC議事要旨では、数人(several)の参加者が資産購入の再投資減額の開始日を今回7月の会合で発表する準備ができているとの見解を示したことが明らかになった。一方で、数人(some)がここ最近のインフレの低下を懸念しており、インフレ見通しの先行き不透明感が増したとの見方を示したことが市場でハ派と取られ110.03まで下落。終盤に掛けてはイベント通過から110.20付近での閑散な推移が続く。110.20レベルでクロスした。一方、ユーロドルは前述のECB関係筋の話が伝わったことから1.1691まで下落し、1.1710レベルでNYオープン。朝方は再度下値を試す展開となり、前日の安値1.1687を抜け、1.1681まで下落する。しかしこのレベルでは買い意欲も見られ、午後には前述のトランプ大統領の発表を受けたドル売りが加わり1.1743まで戻す。その後もFOMC議事要旨を受けたドル売りが継続したことから1.1779まで戻し、1.1768レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:橋・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月16日	17:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	6月 4.4%	4.5%
	17:30	英 週平均賃金3ヶ月(前年比)	6月 2.1%	1.8%
	18:00	欧 GDP・改定値(前期比/前年比)	2Q 0.6%/2.2%	0.6%/2.1%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	- 0.1%	-
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	7月 1,155K/1,223K	1,220K/1,250K
8月17日	3:00	米 FOMC議事要旨	-	-

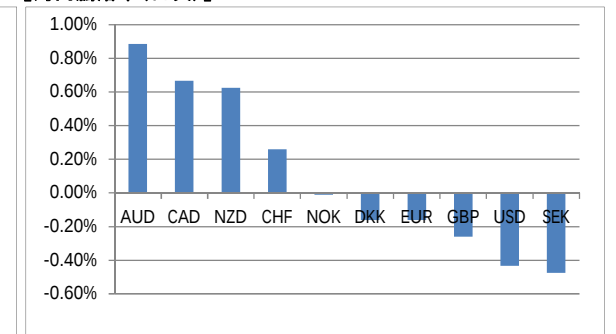
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月17日	8:50	日 貿易収支	7月 ¥327.1B	¥439.8B
	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	7月 20.0K/5.6%	14.0K/5.6%
	17:30	英 小売売上高(前月比/前年比)	7月 0.2%/1.4%	0.6%/2.9%
	18:00	欧 消費者物価指数(前月比/前年比)	7月 -0.5%/1.3%	0.0%/1.3%
	20:30	欧 ECB議事要旨	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 240K	244K
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	8月 18.0	19.5
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	7月 0.3%	0.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-110.50	1.1730-1.1830	129.00-130.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は下落した。発表された7月FOMC議事要旨では足元で弱含んでいる一連の物価指標をめぐり、FEDメンバーが懸念を強めていることが明らかになり、年内利上げ期待の後退からドル売りが進行。加えて、トランプ大統領が助言組織を解散したことで、政策執行能力に関する不透明感も強まったことで、ドル売りが一段と進行した。本日のドル円は上値重い展開を予想する。目先注目されるイベントは、来週のジャクソンホールでのシンポジウムであるが、一部の報道ではドラギECB総裁が金融政策に関する新たなメッセージを打ち出さないと見方があり、クロス円全般で上値重い展開が予想される。